

マクロ経済学 期末試験

2005年2月8日実施

問題1 (各10点×3)

- (1) IS曲線はなぜ右下がりになるか。
- (2) 「クラウドイングアウト」を説明せよ。
- (3) 「流動性のわな」を説明せよ。

問題2 (10点)

所得	200	300	400	500	600	700
消費	160	220	280	340	400	460

- (1) 消費が所得の1次関数で表されるとすると、どのような式になるか。所得をY、消費をCとして式で表わせ。
- (2) 所得が500のとき、平均消費性向、限界消費性向はそれぞれいくらになるか。

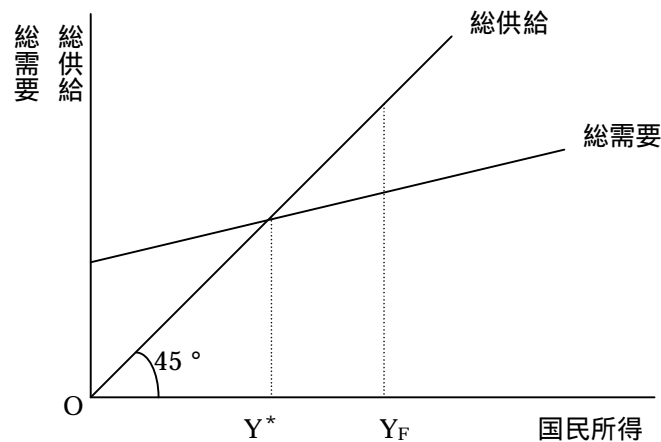
問題3 (10点)

表は、ある企業の投資プロジェクト案である。投資家はケインズの投資決定論に基づき、これらのプロジェクト案を実施するかどうか判断する場合、今後2年間の予想収益、設備購入の費用はそれぞれいくらになるか。ただし、借入金に対する利率、収益に対する利率とも10%とする。

プロジェクト案	設備の利用期間	設備の費用	毎期の予想収益
A案	2年	1,200億円	600億円

問題4 (10点)

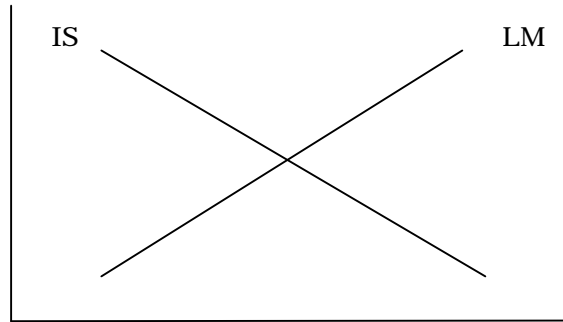
図は国民所得と総供給、総需要の関係を表したものである。ここでY*は均衡国民所得、Y_Fは完全雇用国民所得であり、Y_Fは500兆円である。また、投資を100兆円とし、消費関数をC=0.6Y+60(単位:兆円)とする。このとき、いくらのデフレギャップが生じているか。ただし、政府部門は考慮せず、総需要は消費と投資からなるものとする。



問題 5 (10 点)

次の図に関する記述のうち、正しいのはどれか。ただし、以下の記述において、M：貨幣供給量，L：貨幣需要量，S：貯蓄，I：投資，r：利率，Y：国民所得，である。

の領域では、IとS、LとMの関係はどのようになっているか。それぞれ不等号を使って表せ。



問題 6 (5 点)

マクロ経済における，IS-LM 曲線が，

$$\text{IS 曲線：} Y = 100 - 10r + G$$

$$\text{LM 曲線：} Y = 45 + 10r + 0.5M$$

Y：国民所得，r：利率

G：政府支出，M：マネーサプライ

で示されるとする。今，政府支出が 20 増加し，マネーサプライが不変であったとき，利率はどのようになるか。ただし，物価水準は一定である。

問題 7 (5 点)

ある国の経済が次のモデルで示されている。

$$Y = C +$$

$$C = 20 + 0.4Y$$

$$= 100 - r$$

$$L = 100 + 0.4Y - r$$

$$M = 200$$

Y：国民所得，C：消費，I：投資

r：利率，L：実質貨幣需要

M：名目貨幣供給

物価水準 P が伸縮的であるとき，この経済の総需要曲線はどのような式になるか。

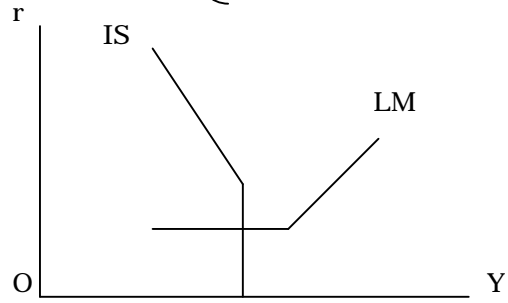
問題 8 (10 点)

次のような IS 曲線, LM 曲線が与えられている。

IS 曲線: $(r) = S(Y)$

LM 曲線: $M/P = L(Y, r)$

: 投資, S: 貯蓄
 r: 利子率, Y: 国民所得
 M: 名目貨幣供給, P: 物価水準
 L: 実質貨幣需要



このときの総需要曲線 AD をかけ。

問題 9 (10 点)

図は, 資本移動が完全な場合におけるマンデル=フレミング・モデル(小国モデル)を表したものである。世界市場において金利水準が r^* に決まっているとする。

当初 A 点で均衡していたこの国で、財政支出を増やした場合、金融政策を緩和した場合どうなるか。それぞれの均衡点とそのとき為替レートがどのように変化しているかを書け。ただし, Y は GDP であり, r は金利である。また, 物価水準は一定であるものとする。

